

「蓬原小学校の熊野神社神舞伝承活動の取組」

1 学校名

志布志市立蓬原小学校

2 学年・人数

志布志市立蓬原小学校 児童3名（4年1名，5年1名，6年1名）

※ 蓬原熊野神社神舞保存会 10数名

3 日時・場所

（1）練習の日時・場所

9月13日（木），10月6日（土），10月20日（土），11月5日（月）

（18：30～22：00）

（蓬原青少年館）

（2）発表の日時・場所

平成30年11月4日（日）学習発表会（本校体育館）

平成30年11月25日（日）ふつはら祭り（本校体育館）

平成31年1月20日（日）市民俗芸能大会（松山やっちくふれあいセンター）

※ 11月23日に蓬原熊野神社で奉納祭を行っていたが，神社への急な坂への配慮と地域の祭りの活性化を願い，場所を変更した。

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

蓬原熊野神社神舞（ふつはらくまのじんじゃかんまい）

（2）由来

蓬原熊野神社の神舞は，延宝7年に蟻穴和尚の手により，美濃紙143枚に墨書された神舞書が現存している。古くから国家の大事や災害に際して，本神舞全42段が奉納されてきた。終戦後しばらく途絶えていたものを，昭和46（1971）年に当時の青年団を中心に，本神舞を故西山太吉氏の指導のもと，全段復活した。昭和54年3月に，鹿児島県無形民俗文化財に指定された。

現在は，熊野神社神舞保存会を中心に，毎年11月23日の例祭日にその一部が神社に奉納されている。

（3）構成等

本神舞は，全42段である。一番舞，幣舞，地割，山舞，宇治，矢抜，幣抜，踏剣…と続き，日向系統のものが多く，中には箕舞や田の神舞など南九州独特の舞もある。全体が洗練された格調高い舞で，鹿児島県内で最もたくさんの種目を伝承している。

5 保存会や地域との連携の具体

保存会のメンバーが，小学3年生社会科の授業でゲストティーチャーと

して神舞を披露したり，5・6年生音楽の雅楽の授業で尺八等を披露したりして，積極的に神舞をアピールしている。7月に，小学校・中学校へ希望者を募り，9月から（第2・4木曜日の夜など），計5回保存会による指導を行っている。小学校の学習発表会では，オープニングとして披露した。

また，昨年まで奉納祭を行っていた蓬原熊野神社は，急な坂があり，参観者の減少の要因にもなっていたことから，場所を地域の祭り（会場は小学校）にしたことで多くの方々に舞を見ていただくことができた。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

次世代伝承活動として，小学校へは道具やビデオ等を紹介し，積極的に呼びかけている。また，青年層へは，参加児童の保護者に道具や衣装の準備及び動画保存等関わってもらっている。発表の場では，時間制限があるため，舞の構成を調整している。今年の例祭日には，小学生による山舞1～3番，中高生による四人鬼神舞，保存会による将軍舞を披露した。楽屋の笛は中学生が保存会員と演奏した。

7 取組の様子



【小学校3年社会科の授業】



【第5回市民俗芸能大会】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見